

2016年3月6日

私立・立命館大学における URAについて

—事務改革の旗頭としたい！—

立命館大学

研究部事務部長

産学官連携戦略本部副本部長

野口 義文

私立大学の校数、学生数、教員数から見た環境

平成27年度・文部科学省「学校基本調査」より

①校数(国公立全体779校)

国立86校、公立89校、私立604校(私立割合77.5%)

②学生数(国公立全体285万人)

国立61万、公立14万、私立210万(私立割合73.6%)

③教員数(国公立全体18.2万人)

国立6.4万、公立1.3万、私立10.5万(私立割合57.6%)

全国大学の校数および学生数の約75%、および教員数の約60%は私立大学

しかし、、、国立と比し**一大学当たり**で見ると

圧倒的に少ない教員数
圧倒的に少ないドクター数・ポスドク数
圧倒的に多い学部生数
圧倒的に多い教育負荷

高度・効果的な研究支援の提供

このことが重要！！

①研究者一人あたりの
研究成果創出を促進
②研究者の成功体験の創出

私立大学だからこそ求められるURAのミッション

- ①学費依存体質からの脱却(研究者への意識改革を促す)
⇒学費は学生に還元し、研究費は研究者自らが獲得
- ②人的研究支援環境の充実(幅広い専門性の発揮)
⇒水平分業型支援から垂直統合型支援へ
- ③研究高度化戦略への寄与(戦略から戦略を繋ぐ“新・繋士”)
⇒研究戦略を大学の経営戦略に深くコミット

CD最盛期からの積年の課題。これが難しい、、、



※「士業」とは、専門資格職業の俗称

つまり、「**士業**」クラスとしての地位・位置付けの確立が重要

立命館大学が新たに制度として導入した高度専門職スタッフ

1. URA (2015年度から常任理事会で導入決定/任期制高度専門職)

- ① 修士以上、事務職員系列 (上司は課長)、任期は今のところ5年 (10年にしたい)
- ② 実務経験5年以上必須、呼称はURAまたはシニアURA
- ③ 給与水準は、年収900万程度を上限
- ④ 人文社会科学系研究分野支援にも積極的に導入 (したい)

2. 特定業務専門職員 (2015年度から常任理事会で導入決定/無期雇用高度専門職)

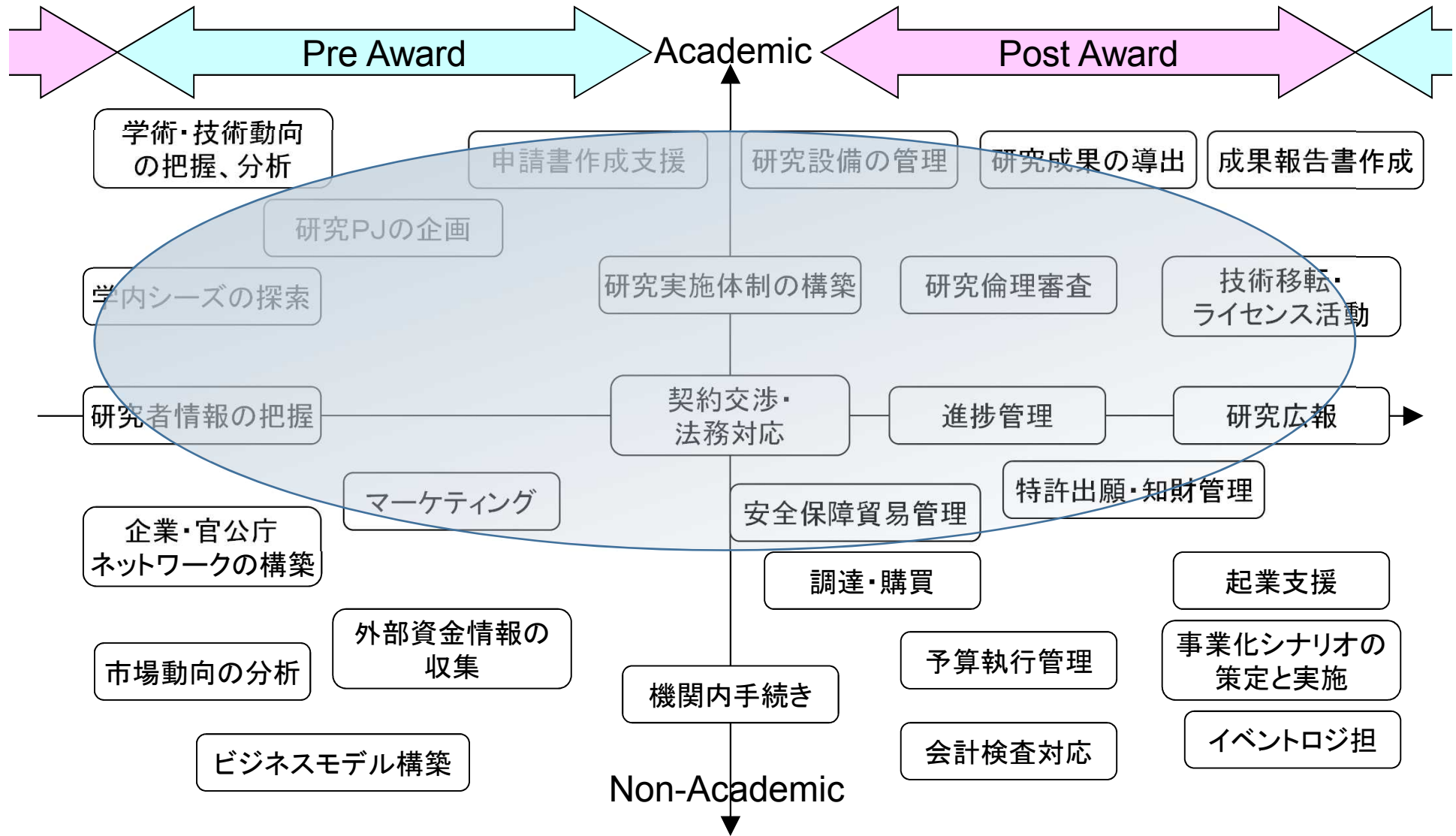
- ① 知的財産管理技能士資格保有者 (2級以上)、事務職員系列 (上司は課長)
- ② 雇用期間の定めなし、人事異動なし、管理職への昇任なし
- ③ 給与水準は、年収600万程度を上限
- ④ 評価手当有り、個人研修費有り

※共通して、業績評価と労務管理が重要
⇒課長のマネジメント力量の向上に寄与

※既存職種であるTP (テクノプロフェッサー) とURA、特定業務専門職員それぞれの職務範囲を切り分け

	初級 (実務経験5年未満)	中級 (5年~10年)	上級・シニア (10年以上)
(1) 研究戦略推進支援業務	TP (任期制専門職)	URA (任期制高度専門職)	
(2) プレアワード業務			
(3) ポストアワード業務			
(4) 知的財産関連業務	特定業務専門職員 (無期雇用高度専門職)		

立命館大学が考えるURA業務のマッピング



本日は、よろしくお願ひします。